

広報 心し

発行・富士市役所

富士市永田61-1

NO. 142

編集・企画調整部広報課

48.9.5 発行

【毎月5日と25日発行】



市民プールで黒んぼ大会・富士第一小の大塚光一君が優勝

水は大切にすすむ



「水」は私達の生活に欠くことができません。朝起きて顔を洗い、炊事、洗濯、トイレ、お風呂と夜寝るまでたえず水とともにすごしています。じゃ口をひねればいつでも水が出るので、水のありがたさを忘れがちです。

この生活に欠くことができない水が不足しては大変です。このため、市は昭和46年度から5ヵ年連続で、第4次拡張事業を実施して、水確保につとめています。しかしふえ続ける水需要にこたえるための建設資金は多くなる一方で、水道事業の経営は苦しくなっています。

ますます多くなる 「水」の需要

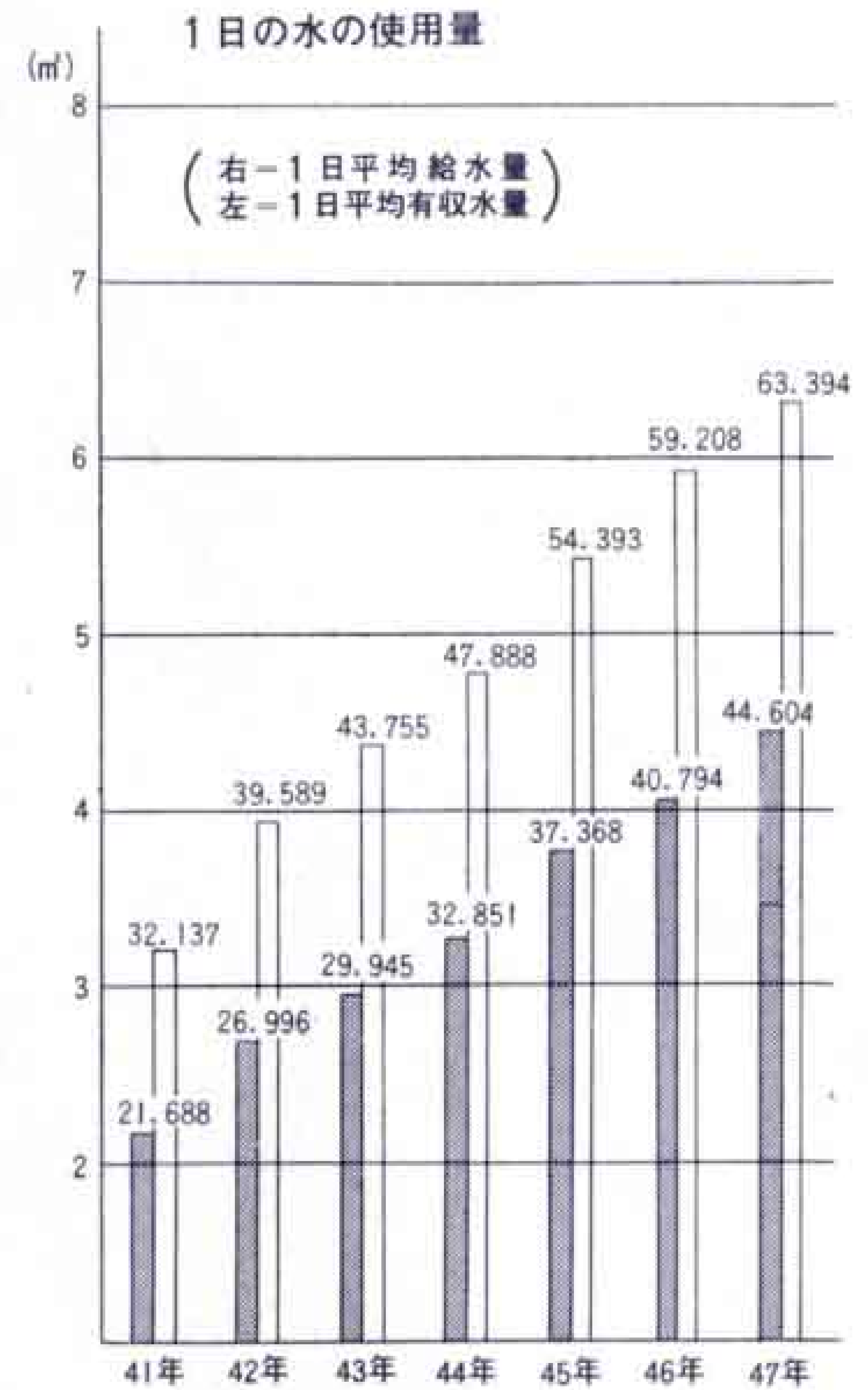
市の上水道は、水源を富士山と愛鷹山系の豊富な地下水に依存しています。120㍍から150㍍の深井戸から、水中モーターポンプで地下水をくみあげ、各家庭に給水しています。おかげで、これまで雨が降らないからといって、水不足に悩まされることもほとんどありませんでした。井戸から一番遠い家庭のじゃ口でも夏19度、冬12度の水が出るので、夏つめたく冬あたたかい、おいしい水を飲んでいただけます。

しかし、人口の増加や各家庭の使用量がふえているので、給水量は毎年多くな

る一方です。今年の夏の使用量を見ても7月と8月の2ヵ月間に4,677,540立方㍍と昨年に比べ10.3㍍多くなっています。また8月12日には80,590立方㍍と給水能力の85,000立方㍍にせまりました。1年中で一番多く水を使うのは8月ですから、ようやくピークはすぎました。

水道の給水計画は、あくまでも水を一番多く使う時期の量にあわせなければなりません。富士市の場合は年間約9㍍近くふえつづけているので、これを予測して整備を進めなければなりません。

ところで、水道事業は独立採算制をとっています。ますます多くなる「水」の需要にこたえるため、多くの仕事を進めなければなりませんので、経営が苦しくなっているのが現状です。



水道の整備

19億円で第4次拡張事業

51年度には給水能力が11万立方メートル

水道の給水計画は、先にのべたように水を一番多く使う時期の量にあわせ、何年か先を見込んだ計画を立てなければなりません。そこで、市は第4次拡張事業を進めています。これは昭和46年度から50年度までの5カ年継続で、昭和52年度の需要を考えて計画しました。

しかし、その後富士団地の造成などのため、給水人口も大幅にふえる見込みになったので、昭和47年2月に計画変更を行ない、総事業費もはじめの15億円から

19億1000万円にふやし、この事業が終る昭和50年度には、日量111,000立方メートルの水を確保します。

昭和46年度からいままでに全体計画の53.2%を実施しました。

4次拡張事業に着手する時点での給水能力は77,500立方メートルでしたから111,000立方メートルを確保するには33,500立方メートル必要となります。そこで、直径30~35センチのパイプで深さ120~150センチの井戸を14本掘ってくみあげますが、すでに昭和47年度までに

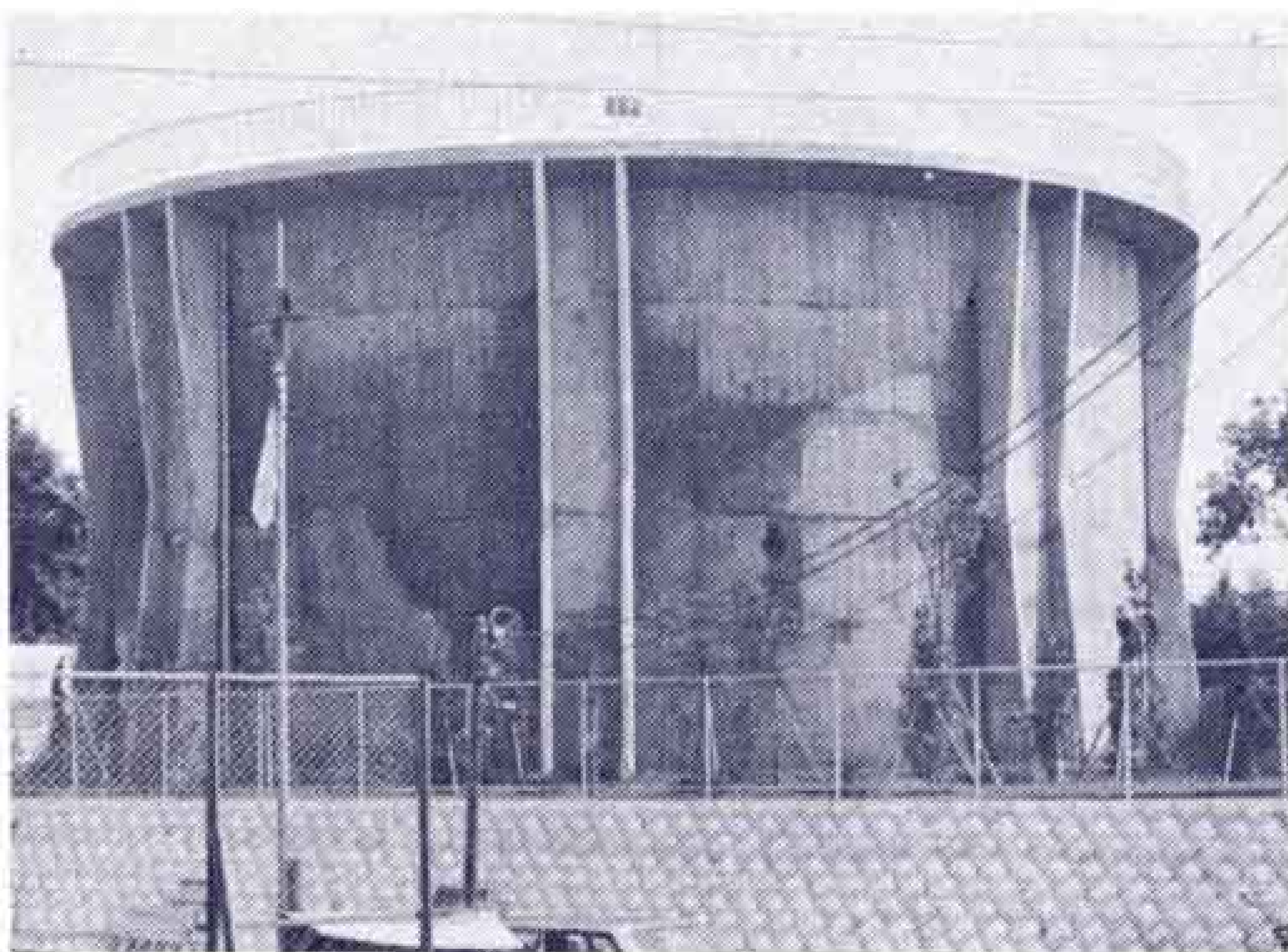
9300立方メートル、今年度は【すすむ配水管の埋設工事=八王子地先で】5700立方メートルを確保します。

貯水タンクはこれまで特に力を入れて建設してきました。井戸ポンプなどが故障しても、各家庭に8時間給水できるように、貯水能力を399,000立方メートルにします。すでに曾比奈、富士区、地低区、東片倉



舟久保の4カ所へ8235立方メートル分をつくりました。今年度は富士団地へ2500立方メートルのタンクと八王子に500立方メートルのタンクを建設します。

さて、配水池からみなさんの家庭へ給水する配水管の埋設は、昭和47年度までに544,114メートルになりました。これは富士市から姫路への距離に相当します。



【木の宮地先に完成した舟久保配水池】

安心して飲んでください

■毎月水質検査を

みなさんのお宅においしい水をお届けし、安心して飲んでいただくため毎月水質検査、1カ月に1度の省略検査、年1度の全項目検査を行なっています。

■水が白くにごる

水道工事中に鉄管の中へ空気が入ると水を出した時アワになっていっしょに出てきます。しばらくすると清えます。

水道が故障したら

■じゃ口の水がとまらない

じゃ口から水がもれているときは、ほとんどコマやパッキンがこわれたときです。どなたでも簡単になおすことができますから、早くなおしてください。

■見えないところで水がもれている

水を使っていないのに、じゃ口や壁に耳をあてると水の流れるような音がする水道の使用量が前の月より急にふえたようなとき、見えないところで水もれていることがあります。そんなときは、全部のじゃ口をしめて、メーターの赤い針(㊦単位)を見てください。もし針がまわっていたら、どこかで水がもれています。

■じゃ口やメーターなどこわれたときなど、水道工事は必ず市の指定工事店に依頼してください。水道工事は市長が定めた指定工事店以外ではできないことになっていますので、ご注意ください。

検針にご協力ください

水道のメーターの検針は、地域ごとに

調べる日を決めてあります。検針員が各家庭へうかがい、使用水量をお知らせしますので、次のことに注意してください

- ・家の増改築などで、メーターが床下や屋内になるときは、検針のしやすい場所へ移してください。
- ・メーターの上や周囲に、物を置かないでください。
- ・メーターボックスの中は、時々掃除をして、検針しやすいようにしておいてください。



長生きの秘訣は何でも食べる

夫婦で187才という、市内ではめずらしい「長寿夫婦」がいます。このカップルは、入山瀬西に住んでいる池谷さん夫婦で、夫の市蔵さんは明治9年6月1日に生まれ、現在97才。妻のよねさんは明治16年9月10日に生まれ、現在90才。

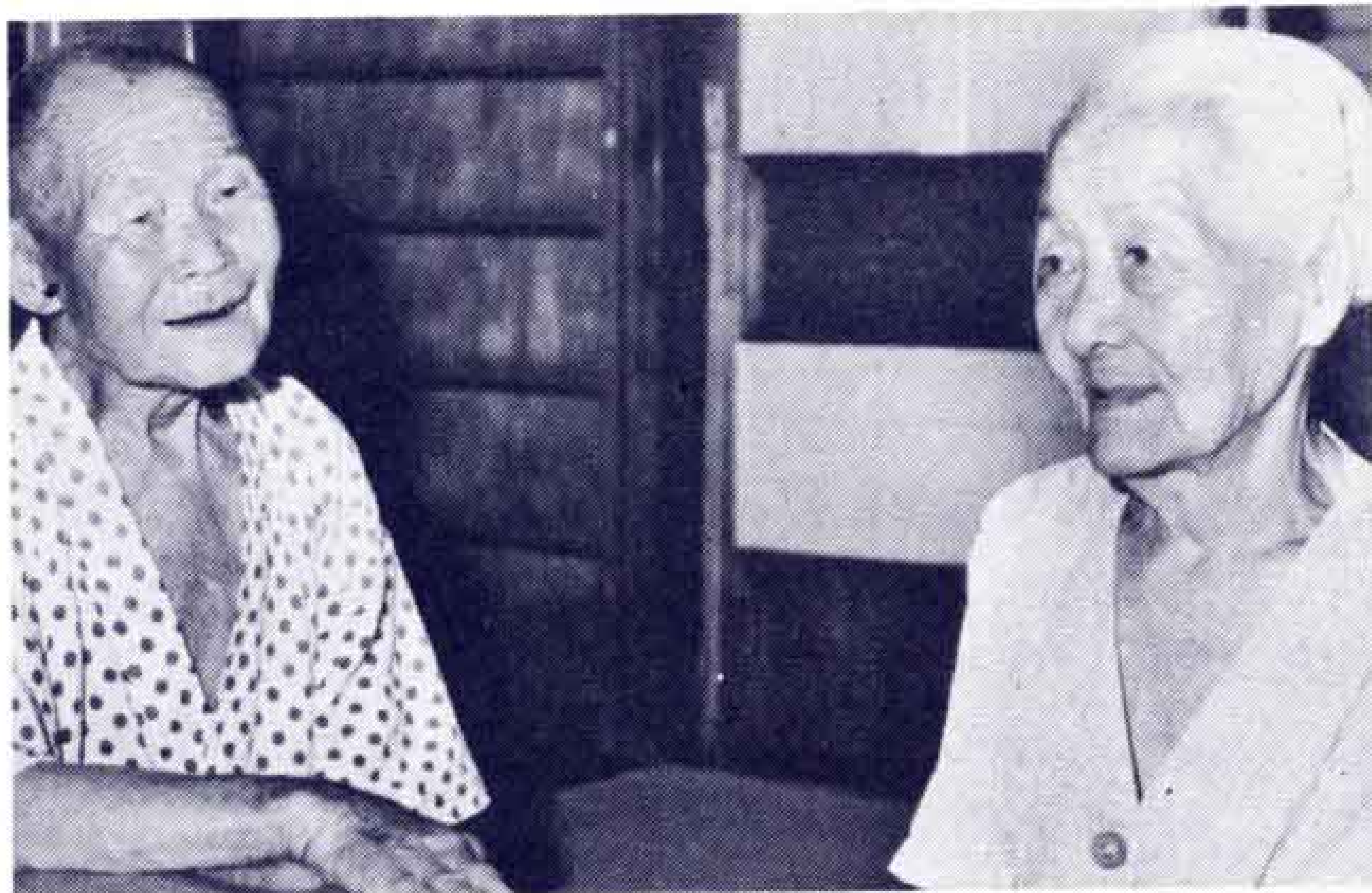
池谷さん夫婦には、70才の長女を頭に8人の子ども、15人の孫、18人のひ孫があり、現在三男夫婦と一緒に暮らしています。

市蔵さんの記憶力は抜群。近所でも評判の「物知り」です。夏休みなどになると、近所の大学生がこの「歴史の先生」に昔話を聞きにくるということです。また風呂好きの市蔵さんは、いまでも自

分でわかし、毎日欠かしたことがありません。よねさんも、留守番だけではなく

若いものにはまだまだ負けれられないと、暇を見つけては家のまわりの草とりや台所仕事に精を出すお元気さです。

長生きのコツをたずねると「これといって別がない



【長生きのコツを語る池谷さん夫婦】

が、酒もタバコものまないし、食べ物の好き嫌いがあまりないのがいいジャーないのかね。そして、体の動くうちにはできるだけ仕事をして、正直に生きるのがマスターコツといえはコツだね。」と語っていました。

市内の最高令者は98才の 甲田さん(今井)と宗田さん(南町)

日本人の平均寿命がまた伸びました。厚生省が先ごろ発表した「昭和47年簡易生命表」によると男は70.49才、女が75.92才と前年に比べ男は0.32才、女は0.34才も伸びました。戦後食生活の改善、医学の進歩もあって平均寿命は大きく伸びましたが、60才を突破したのは男が26年、女が25年ですから、ずいぶんと長生きができるようになりました。

さて、9月15日は「敬老の日」ですが、

市内の70才以上のお年寄り、6381人(男2604人、女3777人)です。このうち80才以上の人は1478人、90才以上が100人です。最高令者は98才の甲田かめさん(今井本町)、宗田屋寿さん(南町)の2人です。なお、全員に記念品をおくってお祝いしますが、80才以上の人には敬老金、88才の米寿の人には市から肖像画、県知事から木盃がおくられます。また、65才以上のねたきりの不自由な老人に、

養生に専念し1日も早く丈夫なからだづくりをしていただくために、「ねたきり老人の慰問」を行ないます。

お年寄りの健康診査 を無料で行ないます

老人健康診査を9月17日から29日まで行ないます。対象になるのは、65才以上のお年寄り、すでに老人健康診査受診通知書を送りました。健康診査を受けるときには、通知書を持って最寄りの医療機関で受診してください。なお、精密検査が必要な場合は、10月22日から31日までの間に受けていただきます。



【関係者から事情を聞く渡辺市長＝天間地先で】

5日間で53カ所を視察

…渡辺市長が行政視察…

道路や河川の工事の進みぐあいは、学校の予定地は一一。渡辺市長が8月20日から恒例の行政視察を行ないました。

この行政視察も今年で4年目。視察したのは、現在実施している工事現場や来年度の工事予定地など53カ所。市長相談や納涼市政相談などに寄せられた意見や要望個所も日程に組み入れ、1日に平均10カ所くらいずつ視察しました。

渡辺市長は、現地で担当課職員に説明を聞くとともに、関係者からも事情を聞きました。

視察を終って、市長は「仕事ができるようにすすんでいるか、を知るには現場を見るのが一番。みなさんから寄せられた意見や要望も現地を見ないとわからないことも多い。寄せられた意見や要望は、できるものからどんどん実施していきたい」と語っていました。

価格は地域によって バラツキが目立つ

…消費者モニターの試買…

私達の暮らしの中で一番の悩みは消費者物価の高騰といえます。とくに生鮮食品の値上がりは台所をあずかる主婦にとって頭が痛い問題でしょう。

まず物価問題を知るには、商品の流通機構を勉強することです。そこで消費生活モニターに生鮮食品の流通機構を勉強して暮らしの中に役立てていただくために、さきごろ青果物の試買調査を行ないました。

調査は青果物の価格が地域間でどのように違うか、鮮度はどうか、量目はどうかの3項目について行ないました。試し買いは、消費生活モニターが毎日買い物をする商店で、キャベツ1個、トマト3個、ナス3個、キュウリ3本、レタス1個の5品目を500円以内で買いもとめていただきました。

この結果、価格は地域によって相当のバラツキが目立ちました。更にスーパーと小売店に分けてみると、

スーパーはある程度安定していましたが、小売店の場合は販売方法が異なるために価格差が激しいことがわかりました。



【買ってきた品物を計量する消費者モニター】

鮮度は専門家に識別してもらいましたが、総体的に平均しており、特に悪いものはありませんでした。5品目の中ではトマトの鮮度が一番よく、価格も平均しています。しかし、レタスとキャベツは痛みやすいせいかよくない品物がやや多くありました。

また、鮮度が商品の価格にどのように影響するか調べたところ、鮮度がよいから値段が高い鮮度が悪いから安いということはありませんでした。総体的に鮮度がよい方が価格も安いという結果が出ています。なお、大淵・吉永・須津・富士駅北地区は、鮮度がよい品物を比較的安く手に入れることができました。

しかし、今回の調査だけでは十分な資料とはいえないのでこの調査結果をもとに、引き続き調査をしていきます。

また、鮮度が商品の価格に



吉原本町通りで「ちびっ子天国」

9月23日午前11時から午後4時まで

第2回目の「ちびっ子天国」を9月23日吉原本町通りで行ないます。

前回と同じように、道路へ落書きコーナー、遊び場コーナーを作って子どもたちに開放します。

■日時

9月23日午前11時から午後4時まで

■場所は

吉原本町通り（糸内田かどから星一までの450m）

■催し物は

- ・バンド行進…こどもバンドなどが午前11時にパレードを行ないます

- ・遊び場コーナー…商工会議所前付近に三輪車を約30台置き、自由に乘ってもらいます。

- ・落書きコーナー…1m幅の巻紙を置いて、落書きを楽しんでいただきます。このほか、無料接待所、チャリティセールなどがあります。

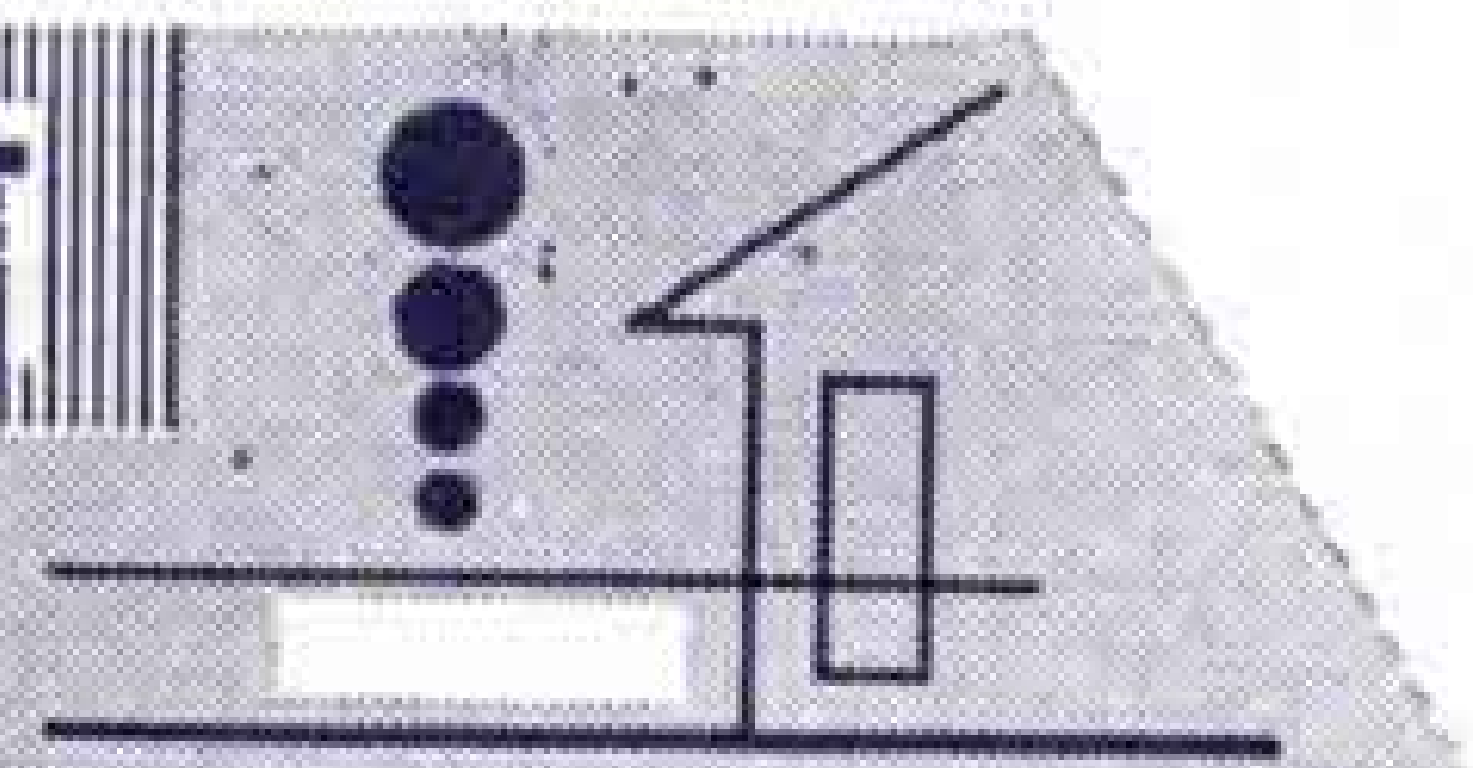
■交通規制

ちびっ子天国のあいだ、本町通りは通行止めになります。通行車両には標識でお知らせしますのでご協力をお願いします。



【4月8日のちびっ子天国・落書きコーナー】

市政モニター提言



**婦人会が中心になって
ゴミを捨てない運動を**



【川へゴミを捨てると災害の原因にも…】

川へゴミを捨てないように、朝夕の放送でも呼びかけているが、長年の習慣がいまだに不心得の人があとをたたない。一般家庭でも徹底していると思うが、朝早く人目の少ない時にゴミを捨てている婦人をよく見かける。見かけたのは鷹岡地区だが、こうしたことは鷹岡地区だけではないと思う。

こうしたことをなくすには、一段と強く各家庭へ呼びかけることが必要ではな

いか。また、婦人会が中心となり川へゴミを捨てない運動を起したらどうか。

市も各河川の要所に看板を出したらいかがですか。看板があれば公德心のある人なら、そうそうゴミを捨てられないと思う。また、私の近所の川に1日に1回クレゾールの臭いのする白い排水が流される。1日に10分から15分くらいのことだが迷惑している。こうした

ことも市内には各所で見られることだと思ふ。ゴミをひとつ捨てるのも公害だし川に汚水を流すのも公害だ。川をきれいにするため、厳しい監視をしてほしい。

(久沢・芦沢治喜)

健康を考える 用具や場所がなくても運動はできる

調査によると10人中体力をつけたいと考えている人が8~9人います。しかし、なんらかのかたちで運動している人は10人中3~4人です。運動をしたいと思ってもなかなかできなくてとよく聞きます。その理由は①暇がない②場所がない③用具がない④一緒にやる仲間がいないなどが代表的なものです。

運動不足を補うには、グラウンドや用具、仲間がいなくてもできます。みなさんの回りには、いつでも気軽に運動する

場所があります。それは自分の家であり家の庭です。暇がない、グラウンドや体育館がないから運動しないと言っていたら、幸福の基盤である健康は保障されません。工夫すれば、家庭で楽しみながら運動不足を解消し健康の保持増進がはかれます。

家庭でいつでもできる運動は、体操、かけ足、なわとびなどがあります。いずれも広い場所がなくてもできます。その場でのかげ足、なわとびの動作をくり返してやれば、それで結構効果があがります。時間も5分から10分と、長い時間をかける必要はありません。

それでは、体力づくりをすすめるために大切なことをあげてみましたので、参考してください。

■毎日続けてやる
人間のからだは

適度の運動によって体力は向上し、運動をしないとどんどん低下します。毎月続けることができない人は、1日おきでも効果は期待できます。

■からだ全体を動かす

からだの一部だけの運動よりいろいろな動きを取り入れて、からだ中を動かすことによつて調和を取ります。

■じょじょに運動の量や強さを増す

一度にやりすぎるとかえつて健康を害する危険があります。自分の体力に応じてじょじょに運動の回数や時間などを増やします。

■体力づくりは自分がその気にならなければならない

どんな体操をどんな方法でやるのがよいかは、他人に聞いてもそれだけでは体力づくりはできません。自分のからだを自分で動かしてはじめて、体力づくりが可能になるのですから、自分がその気にならなければ効果はあがりません。

スポーツは、理屈ぬきでやってみることです。家族で楽しみながら、気軽に、自由に動いてください。



【場所にあった運動を】



■ 小学生のレベルが上がる

市民水泳大会が8月19日、今泉小学校のプールで行なわれました。小学校5年生以下の50種自由形から一般30才以上の平泳ぎなど34種目68競技に250人が参加しました。今回の大会では、一般の記録はあまりよくありませんでしたが、小学生のレベルは上がり、県平均の記録を上回りました。



■ 成人学校の成果を発表

成人学校の生徒が作った作品の展示を、8月18日と19日の2日間にわたって富士文化センターで行ないました。フラワーデザイン、日本画染色工芸などで、生徒が一生懸命書いたり作った作品250点を展示し、成果を発表しました。

■ 婦人の勉強会

婦人夏期大学講座がさきごろ富士文化センターで開かれました。日ごろ家事や子どもたちの世話におわれなかなか勉強する機会がない婦人も、この日ばかりは熱心に講演に聞き入っていました。講演は全国主婦連合会副会長の高田ユリさんの「食品公害」や、横浜国立大学教授の間宮武先生の「現代つ子と性教育」についてなどが行なわれました。

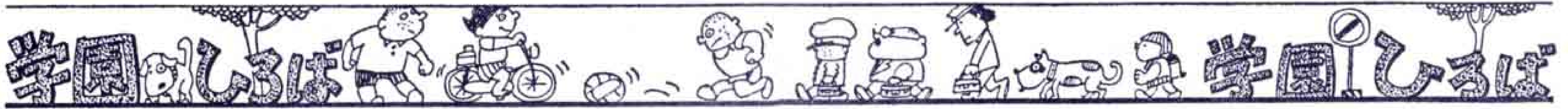


■ いたづらはやめて……

臨港富士線の両側に植えてあるトゲナシニセアカシヤが8月27日の夜間、心ない人のいたづらで折られてしまいました。

この街路樹は昭和44年に、青年会議所が町の中に緑をと、警察署前の臨港富士線に200本を植えてくれたもので、800本に8本間隔で植えてあります。このうち3本が根本から70センチぐらいのところから折られてしまいました。なお、みどりの課ではさつそく補植していきませんが、みんなできれいを大切に守りましょう。





楽しくなった国語の授業



鷹岡小学校6年

田村 泉

このごろの授業は、みんな手を上げてとても活発になりました。このあいだまでは、おこられながら決まった子しか手を上げず、ただ、先生の話を聞いているだけでした。でも、このごろ私もなんとなく、国語の授業がたいへん楽しくなってきました。今でも、おこられることは少なくないけれど、やっぱ

りこのあいだよりは、少しちがっています。勉強もこのごろは、だいたいの子がしてきて、みんなが発表しています。きょうなんか、みんなさしてもらいたくて、だれかが発表すると「そこのところで。」「つけたして。」などと、むちゅうになっています。この

方が、授業をやるのに、やる気がわいてきます。

わたしたちの組では、家での勉強でわからないところに？や気づいたこと、わかったことなどの書きこみをやっています。はじめは、この書きこみがとてもめんどろでいやだったけど、書きこみがしとると、発表がたくさんできるので、家での勉強もはげみになり、楽しくなりました。

どの子もまけないように全員発表をめざしてやっています。ひとりひとりがやる気になって授業を進めていくことは、とても楽しいことです。

子ども会球技大会

男子のソフトボールは津田 チームが優勝
女子のキックボールは本市場 チームが優勝

男子はソフトボール、女子はキックベースボールと、子ども会球技大会を8月19日に行ないました。18地区から男女1チームづつ参加して熱戦をくりひろげましたが、男子は吉原小学校区の津田チーム、女子は富士第1小学校区の本市場チームがそれぞれ優勝しました。

なお、男子で優勝した津田チームと女子で3位になった中野チームは8月25日、沼津市で行なわれた静岡県東部地区の球技

大会に富士市の代表で出場しました。この結果、男子は2回戦で惜しくも負けましたが女子は3位になりました。



↑ ■キックベースボールで優勝した本市場チーム
■ソフトボールで優勝した津田チーム
←



わたしの作品

幸福

1-B 影山 啓二

岩松中学校

(評) 影山君の作品は良い筆づかいです。が、バランスをくずしています。学年、氏名も左に寄り過ぎ、特に学年の表示が適当ではありません。(青木臨川)

松風

今泉小 六年 滝沢 智子

(評) 滝沢さんの作品は、実にすばらしい。大人も及ばない風格があり、力強く書けています。(青木臨川)